

## 壁紙全点共通の注意事項

### 選択上の注意

- 素材壁紙、及び一部のビニル壁紙は施工難度が高いため、施工費が割増しになる場合があります。
- 素材壁紙は特性上、付着した水分による変色・変質が生じるおそれがあるため、水廻りなどの使用はおすすめしません。
- 素材壁紙は特性上、商品の色に差が生じることがあります。

### 施工時

- 下地は平滑にし変色を避けるため、シーラー処理は必ず行ってください。特にコンクリートや合板下地の場合、水やアクを防ぐためシーラー処理は重要です。
- パテは下地材と同色のものを使用してください。厚みが薄い商品や色の白い商品には特に注意が必要です。
- 石膏ボード表面層を切り込まないよう下敷きテープを使用してください。切り込みは目スキの原因となります。
- 施工中、施工後とも、冷暖房などによる急激な乾燥は避けてください。目スキの原因となります。
- 折りジワについて注意文がある商品は、取り扱いに注意が必要です。折りジワが付くと修復出来ない場合もあります。詳しくは、見本帳P.75「折りジワについて」をご確認ください。
- オープンタイムは温度や湿度に影響を受けますので、現場環境に合わせて調節してください。
- 3巾施工以降のクレームはお受け出来ない場合があります。

### 施工後

- 直射日光が当たると、紫外線により色褪せがしやすくなります。カーテンなどで直射日光を避けるよう心掛けてください。

## 箔 共通の注意事項

### 選択上の注意

- 素材の特性上、ジョイント部に色ムラが生じることがあります。
- 金属板等非吸水性の下地には施工しないでください。
- 水が直接かかる場所への使用は避けてください。さびや変色の原因になります。

### 施工時

- 商品の厚みが薄いため、下地は十分に平滑にしてください。
- 変色を避けるため、シーラー処理は必ず行ってください。
- 表面に糊が付着しないようご注意ください。表面に糊が付着した場合は、きれいな布で素早く拭き取ってください。
- 糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたみ、重ね置きはしないでください。
- 撫で付けは柔らかい刷毛で行い、横方向に強くしごかないでください。表面を強く擦ると光沢感にムラが生じることがあります。
- 撫で付けで壁紙がたわんだ際などにシワが付かないようご注意ください。素材の特性上、シワが付くと元に戻りません。
- 金ベラや硬いローラーは使用しないでください。
- 鋭い薄刃のカッターを使用してください。
- カッターの刃の角度は15～20°の角度を保ってカットすると、比較的ジョイント部が目立ちにくく仕上ります。